

第80回運輸政策セミナー オンライン開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび運輸総合研究所におきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「運輸政策セミナー」をオンラインにて開催することとなりました。

つきましては、ご関心をお持ちの皆様におかれましては、ご参加を賜りますようご案内申し上げます。また、ご関心をお持ちの方々に広くご周知頂ければ幸いです。

ご参加に当たりましては、大変恐縮ですが、申込み専用 URL からお申込み頂きますようお願い申し上げます。 敬具

記

○第80回運輸政策セミナー（オンライン配信）

日 時：2022年4月25日（月）15：30～17：30

会 場：オンライン（Zoom ウェビナー）

テ ー マ： 「地域づくりの新たな潮流」

～100年後の地域を創る観光のあり方を考える～

1. 取組紹介

テーマ：「思考停止状態の日本をどうよみがえらせるか？」（富山県 東岩瀬地区）

榊田隆一郎 榊田酒造店代表取締役

テーマ：「山形庄内をモデルに、未来にときめく社会を創る」（山形県 庄内地区）

山中大介 ヤマガタデザイン株式会社代表取締役

テーマ：「地方×ラグジュアリー×体験型」の可能性」（長野県 南木曾町等）

岡部統行 株式会社 Zen Resorts 代表取締役

2. 鼎談・質疑応答

進 行： 三重野 真代 東京大学公共政策大学院特任准教授

参加費：無料

お申込み：下記の URL よりお申し込みください

<https://krs.bz/jterc/m/semi220425>

（申込期限：4月21日（木）まで）

※お申し込み頂いた方には、4月22日（金）午後に視聴用 URL をご送付いたします。



4. 概要

日本では、人口減少により地域社会の存続すら危ぶまれる状況が現実化しつつある。地域の魅力を向上させ、交流、観光を活用して地域の持続、活性化を図る、住んでよし訪れてよしの地域づくりの取り組みは極めて重要である。

コロナ禍はこのような状況を加速している。2022年はコロナ禍からの脱却を目指す年となるが、大打撃を受けた観光も、単にコロナ禍の前の状況に戻すのではなく、より高付加価値で地域の持続的発展に貢献する、質の高い観光を目指していく必要がある。

そのような中、地域における強い思いのある個人によるセンスが光る取り組みが、地域を変え、新たな地域の魅力を創出する事例が見られるようになってきている。

今回のセミナーでは、そのような取り組みの当事者がどのような思いでどのように地域づくりを進めているのかを語っていただき、ポストコロナにおける、質の高い、真に地域の持続的な発展・活性化に貢献する「100年後の地域を創る」観光のあり方についてヒントと展望を得ることとしたい。

3. ご経歴

● 梶田隆一郎 梶田酒造店 代表取締役

(ご経歴)

梶田酒造店 代表取締役 白岩酒造 ファウンダー
岩瀬まちづくり株式会社 代表取締役
KOBO ブリュワーリー合同会社 代表
グリーンエネルギー北陸 副会長 北陸酒販 取締役
KFW アンリージョー取締役
富山県酒造組合 会長
日本酒造組合中央会 理事北陸支部長 などなど



● 山中大介 ヤマガタデザイン株式会社 代表取締役

(ご経歴)

1985年、東京都生まれ。2008年、慶応義塾大学環境情報学部を卒業。
同年、三井不動産株式会社入社。郊外型大型商業施設の開発と運営に携わった後、2014年に山形県庄内地方に移住し、街づくりを担うヤマガタデザイン株式会社を設立。鶴岡サイエンスパークの開発を指揮して、2018年に、田んぼに浮かぶ木造ホテル「スイデンテラス」、天性重視個性伸長の教育施設「キッズドームソライ」をオープンさせたのを皮切りに、人材紹介ポータルメディア「ショウナイズカン」、有機農業プラットフォーム「ショウナイールーツ」、農業経営者育成学校「シーズ」、農業ロボット開発「有機米デザイン」などの街づくり事業を手掛け、山形庄内から全国にも展開可能な課題解決のモデルづくりに挑む。



●岡部統行 株式会社 Zen Resorts 代表取締役

(ご経歴)

・2002年より20年に渡り、TVジャーナリストとして「ガイアの夜明け」「ザ・ノンフィクション」「ザ・スクープ」などの報道ドキュメンタリー番組を制作。日本全国で社会問題取材を周る中で、地方衰退の厳しい現状を目の当たりにして、地方から日本を再生するためのプロジェクトを2017年に始動。



・「100年後の日本を作る」を理念に掲げ、オリンピック選手・ミシュラン星付きシェフ・五つ星ホテルのコンシェルジュなどを巻き込んで、株式会社 Zen Resorts を創業した。Zen Resorts は、地方の「眠れる地域資源」（伝統文化・自然・暮らし）を再発掘して、高付加価値／高単価な「体験コンテンツ」として再構築することで、観光を通して日本を再生していくことを目指している。

・2019年には、長野県の“消滅可能性都市”である南木曾町に、日本初の体験型ラグジュアリーホテル『Zenagi』（ゼナギ）を開業。1人1泊15万円以上の高単価ながら、「オリンピック選手をプライベート・ガイドにした自然体験」や「1200年の歴史を引き継ぐ伝統工芸の職人体験」などの高付加価値の体験で、欧米や国内の富裕層を集客している。

・「2030年までに、全国20ヶ所に日本再生の拠点を作る」というプロジェクトを実装し、ホテルやレストランなどの施設だけでなく、体験や飲食メニューやプロダクトの開発や、地方再生人材やホスピタリティ人材の育成、地域のDMCとしてのセールスPRなどを日本全国で展開している。（観光庁・文化庁・経済産業省・農林水産省などのモデル事業にも選定）

●三重野 真代 東京大学公共政策大学院特任准教授

1980年大分県生まれ。

京都大学経済学部卒、ロンドンスクールオブエコノミクス(LSE)都市政策修士号取得。

2003年国土交通省に入省。観光庁観光資源課専門官、国土政策局総務課課長補佐、京都市役所産業観光局観光 MICE 推進室観光戦略部長勤務、総合政策局環境政策課課長補佐、復興庁企画官(観光担当)を経て2021年より現職。

2021年『グリーンスローモビリティ～小さな電動車が地域と公共交通を変える～』(学芸出版社)を編著出版。



運輸総合研究所は日本財団の助成を受けて活動を行っております。

Supported by  日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

お問合せ：一般財団法人運輸総合研究所 企画部（担当：新倉）

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19 (UD神谷町ビル)

TEL : 03-5470-8415 FAX : 03-5470-8401

E-mail : collo@jttri.or.jp

HP : <https://www.jttri.or.jp/>